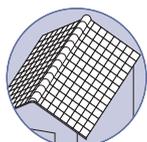


被害程度の目安 (数字は損傷部分の割合)

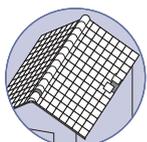
内閣府の被害認定基準による被害程度の目安

	無被害	一部被害	半壊	大規模半壊	層破壊以外	全壊	層破壊
被害の特徴	被害なし	亀裂・剥落が発生 瓦のずれや落下が発生	傾斜1/60rad~ 柱や梁が折れる 小屋組が壊れる	亀裂・剥落が顕著 瓦の大部分が落下 構造被害が大きい	傾斜1/20rad以上 基礎が破壊 建物にゆがみが生じる		ある階が潰れる 瓦礫状態になる
屋根被害型 屋根瓦が大部分剥落するなどの被害							
2階被害型 2階の被害が1階より大きい							
1階被害型 1階の被害が2階より大きい最も典型的な被害							
全体被害型 1階、2階ともに同程度の被害を受ける							
基礎被害型 基礎が割れ、陥没や沈下が見られる					 基礎の破壊	 建物全体に歪み	
地盤破壊 ●上部構造の被害が卓越する場合は上部構造のチャートを使用する							上部構造の被害を伴う地盤破壊
液状化 ●上部構造の被害が卓越する場合は上部構造のチャートを使用する			 傾斜1/100~1/60rad (不同沈下を伴う)	 傾斜1/60~1/20rad (不同沈下を伴う)	 傾斜1/20rad以上 (不同沈下を伴う)		
			 沈下による潜り込み 基礎天端下25cmまで (0.2m)	 沈下による潜り込み 床まで (0.5m)	 沈下による潜り込み 床上1m (1.5m)		
建物価値の損失の目安 (再建築価額に対する補修費用の割合)	0%	0~20%	20~40%	40~50%	50%以上		
内閣府の被害認定基準による補修判断の目安	補修・再使用可能				補修困難・修復不可能		

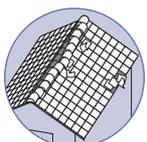
屋根の損傷の様子 (数字は損傷部分の割合)



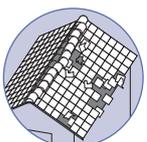
0%
被害は確認できない



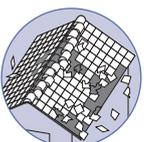
0%超~10%未満
棟や軒先の一部にずれやはがれがわずかに見られるもの



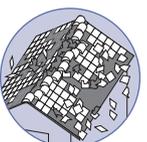
10%以上~20%未満
棟や軒先の一部にずれやはがれが見られるもの



20%以上~30%未満
棟や軒先の一部にずれやはがれが見られ、葺材(瓦など)の一部に落下が見られるもの



30%以上~70%未満
棟や軒先の一部にずれやはがれが著しく、葺材(瓦など)の落下が各所にかなり見られるもの



70%以上~
屋根全体の変形と葺材(瓦など)の落下が著しく見られるもの

壁の損傷の様子 (基礎被害を含む/数字は損傷部分の割合)



0%
被害は確認できない



0%超~10%未満
ひびわれや剥落、わん曲が「一部」に見られるもの



10%以上~20%未満
ひびわれや剥落、わん曲が「一部」に「かなり」見られるもの



20%以上~30%未満
ひびわれや剥落、わん曲が「各所」に見られるもの



30%以上~45%未満
ひびわれや剥落、わん曲が「各所」に「かなり」見られるもの



45%以上~60%未満
ひびわれや剥落、わん曲が「各所」に「著しく」見られるもの



60%以上~
ひびわれや剥落、わん曲が「全面的」に見られるもの

被害程度の目安 (数字は損傷部分の割合)

内閣府の被害認定基準による被害程度の目安

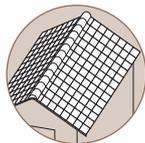
	無被害	一部被害	半壊	大規模半壊	層破壊以外	全壊	層破壊
被害の特徴	被害なし	亀裂・剥落が発生 瓦のずれや落下が発生	傾斜1/60rad~ 柱や梁が折れる 小屋組が壊れる	亀裂・剥落が顕著 瓦の大部分が落下 構造被害が大きい	傾斜1/20rad以上 基礎が破壊 建物にゆがみが生じる		ある階が潰れる 瓦礫状態になる

被害イメージ 上部構造被害	屋根被害型	2階被害型	1階被害型	全体被害型	基礎被害型
屋根瓦が大部分剥落するなどの被害					
2階の被害が1階より大きい					
1階被害型 1階の被害が2階より大きい最も典型的な被害					
全体被害型 1階、2階ともに同程度の被害を受ける					
基礎被害型 基礎が割れ、陥没や沈下が見られる					基礎の破壊 建物全体に歪み

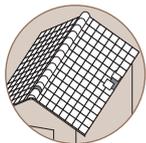
被害イメージ 地盤被害	地盤破壊	液状化	傾斜1/100~1/60rad (不同沈下を伴う)	傾斜1/60~1/20rad (不同沈下を伴う)	傾斜1/20rad以上 (不同沈下を伴う)	上部構造の被害を伴う地盤破壊
● 上部構造の被害が卓越する場合は上部構造のチャートを使用する						
● 上部構造の被害が卓越する場合は上部構造のチャートを使用する						
			沈下による盛り込み 基礎天端下25cmまで (0.2m)	沈下による盛り込み 床まで (0.5m)		

建物価値の損失の目安 (再建築価相対する修復費用の割合)	0%	0~20%	20~40%	40~50%	50%以上
内閣府の被害認定基準による補修判断の目安		補修・再使用可能			補修困難・修復不可能

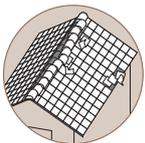
屋根の損傷の様子 (数字は損傷部分の割合)



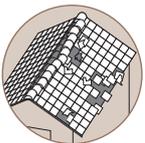
0%
被害は確認できない



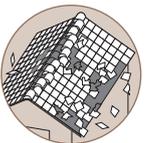
0%超~10%未満
棟や軒先の一部にずれやはがれがわずかに見られるもの



10%以上~20%未満
棟や軒先の一部にずれやはがれが見られるもの



20%以上~30%未満
棟や軒先の一部にずれやはがれが見られ、葺材(瓦など)の一部に落下が見られるもの



30%以上~70%未満
棟や軒先の一部にずれやはがれが著しく、葺材(瓦など)の落下が各所にかなり見られるもの



70%以上~
屋根全体の変形と葺材(瓦など)の落下が著しく見られるもの

壁の損傷の様子 (基礎被害を含む/数字は損傷部分の割合)



0%
被害は確認できない



0%超~10%未満
目地にわずかなずれや、ボード(パネルや合板)に浮き上がりやひび割れ、変形が「一部」に見られるもの



10%以上~20%未満
目地にずれや、ボード(パネルや合板)に浮き上がりやひび割れ、変形が「一部」に見られるもの



20%以上~30%未満
目地にずれや、ボード(パネルや合板)に浮き上がりやひび割れ、変形が「各所」に見られるもの



30%以上~45%未満
目地にずれや、ボード(パネルや合板)に浮き上がりやひび割れ、変形が「各所」に見られるもの



45%以上~60%未満
目地にずれや、ボード(パネルや合板)に浮き上がりやひび割れ、変形や脱落が「各所」に著しく見られるもの



60%以上~
目地にずれや、ボード(パネルや合板)に浮き上がりやひび割れ、変形や脱落が「全面的」に見られるもの